

学校教育目標	南高生の誇り十箇条を座右の銘とし、人格の完成をめざし、豊かな情操と培い、探究心旺盛な自主自立の精神に充ちた心身ともに健康な民主的社會人の育成を期する。
目指す学校像	文武において高きに挑み、深く学び、地域社会・国際社会に貢献することができる 「知・徳・体」の調和がとれた人材を育成する学校
重点目標	1 自己実現…主体的に学習して自己実現を図る生徒を育成する教育体制の構築を推進 2 文武自考…主体的に取り組む生徒を育成するため活力と特色ある教育活動を推進 3 情報発信…コミュニティ・スクールとして積極的に情報発信を行い信頼される学校づくりを推進

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価	
年度目標					年度評価		実施日 令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	【現状】 進学重視型単位制、55分授業、週34単位、年8回の土曜授業というシステムが定着しており、学校選択問題を導入した入学選抜を実施する令和9年度以降入学生についても継続する。毎年、外部講師を招聘した研修会や教職員相互の授業観察週間を設定し、教職員の授業力向上に努めている。 【課題】 学びの質の向上に向けて、ICTを活用した授業改善の推進に継続して取り組む。また、自ら探究的に学ぶことのできる自立した学習者の育成を目指して、令和9年度以降実施の台湾研修旅行も見据えた、総合的な探究の時間を中心とした学習計画の見直し・改善に取り組む。	「文武自考」を体現する自立した学習者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」「探究的な学び」の実現に向けた授業を実践する。 総合的な探究の時間の計画的な取組を継続し、さらに、令和9年度以降に向けて学習計画の見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者アンケート iPad を効果的に活用している90%以上。 総合的な探究の時間の計画的な実施。 総合的な探究の時間について、令和9年度以降の学習計画を作成し、本校独自の標準モデルを確立する。 				
		授業力向上による確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 教員相互の授業観察を奨励する。 授業改善プロジェクトチームによる校内研修を実施する。 研究発表校や県外視察等により、最新の授業実践について情報を収集し教員間の情報共有を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者アンケート授業満足度80%以上。 教員相互の授業観察週間を6月と11月に実施。 授業改善プロジェクトチームによる校内研修を学期に1回実施。 				
2	【現状】 大学入試が多様化する中で、論文や面接指導、進学補習など、教職員が連携して個に応じた進路支援を行っている。進路支援部を中心とした3年間の計画的な進路支援に取り組む、生徒の進路実現に向けたサポート体制を整えている。現役4年制大学進学率は11年連続で80%を超えており、昨年度は88.0%であった。 【課題】 進路支援部を中心とした計画的な進路支援を、継続して取り組む必要がある。より高みを目指し、最後まで諦めない生徒を育成するためにも、部活動の活性化によって、生徒の自己肯定感を高め、また、生徒の不安や悩みに寄り添える教育相談体制の充実に努める。	キャリア教育の推進と生徒の進路実現に向けた計画的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 3年間の計画的な進路支援の実施により、進路希望の実現を目指す。 共通テストまでの進路支援を充実させ、現役大学進学率の増加を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者アンケート進路行事を計画的に行っている90%以上。 大学入学共通テスト受検者90%以上。 現役大学進学率90%以上。 国公立大学合格者20名以上。 早慶上理GMARCH合格者70名以上。 				
		部活動の更なる活性化	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体性を引き出し、成就感や達成感を感じさせる部活動を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者アンケート部活動が盛んである98%以上。 各部活動の大会や発表会等の結果向上。 				
3	【現状】 近隣小中、辻地区、市及び南区との連携事業を充実させ、地域に根差した学校づくりを推進している。本校の魅力を広く発信するため、学校HP等を効果的に活用した積極的な情報発信を行っている。 【課題】 地域に開かれた学校づくりへの一層の推進に取り組む。本校HPだけでなく、本校の学校説明会の日程や対象を増やし、中学校や塾が主催する学校説明会などの機会を捉えるなど、本校の魅力的な情報発信に継続的に取り組む。	コミュニティ・スクールとしての開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 近隣小中、辻地区、市及び南区との連携を推進する。 学校運営協議会との連携協働を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 辻小学校と連携したチャレンジスクールの実施。 近隣小中学校、辻地区、南区との連携事業の実施。 学校運営協議会を通じた地域との有益な連携・協働の実施。 地域大学との連携事業の実施。 				
		組織的、積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な学校広報活動を推進する。 学校HPの更新や学校情報の新たな発信方法を検討する。 中学校教員や塾関係者など、教育関係者を対象とした学校説明会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会、部活動体験への参加者数の増加。 学校HP更新回数の増加。 中学校・近隣塾等への学校説明の実施。 学校説明会の日程や対象の増加 				
4	<現状> 校舎内のICT環境が整えられ、iPadを活用して生徒が主体的に学習する授業が展開されている。多様な人材の育成や社会的視野の拡大を意図して、現状のオーストラリア研修旅行に加え、令和9年度入学生より台湾研修旅行を実施することを決定した。 <課題> 国際理解教育の要となる国際交流事業に継続して取り組む。個人の学びを発信する機会も増えており、適切な情報管理や情報モラル・情報リテラシーの醸成が必要である。	主体的に取り組む生徒を育成するための特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に取り組めるよう学校行事を充実させる 2年次海外研修旅行や国際交流事業への積極的な参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者アンケート学校生活に満足している95%以上。 2年次生徒アンケート研修旅行に積極的に活動した95%以上。 国際交流事業への応募者数の増加 				
		充実したICT環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 情報機器（AL室保管の情報機器等）を積極的に活用し、適切に管理・運用する。 情報端末管理台帳による情報機器の管理を行う。 学識者による講演会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者アンケートICTを活用している90%以上。 生徒対象の携帯・スマホ安全教室を年1回実施。 情報モラル・情報リテラシーに関する教職員対象研修会の実施。 				
5	<現状> 学校外の研修にも積極的に参加する教職員も多く、研鑽に努める雰囲気が醸成されている。昨年度、組織体制や内規の見直しを行った。 <課題> 各教職員のキャリアに応じた研修受講奨励を推進するとともに、業務の更なる効率化を図る必要がある。	教職員が働きやすくやりがいを持てる職場環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 管理職が教職員一人ひとりとの対話等によって現状を把握し、業務改善・働き方改革に努める。 管理職による教職員のキャリア段階を踏まえた研修受講奨励を行う。 教職員の在校時間削減に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理職による定期的な面談の実施。 教職員のキャリアに応じた研修受講奨励の実施。 希望研修や研究発表への参加者数の増加。 在校時間削減に向けた教職員への呼びかけやメンタルヘルス面談の実施。 				

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心のサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組